

# 令和6年1月～6月期 上野地区景況調査結果

## ～前期より悪化、今後の見通しも厳しく～

県内12商工会議所では、地区の小規模企業を対象とした景況調査を年2回実施しています。上野商工会議所中小企業相談所では、このたび令和6年1月～6月期の調査結果をまとめましたので、ご報告させていただきます。調査にご協力いただきました会員事業所の皆さま、ありがとうございました。

### ◎上野商工会議所地区

- 調査対象996事業所のうち170事業所から回答
- 調査期間：令和6年6月6日(木)～7月12日(金)

### 現状

令和6年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が14.7%（前期18.3%）、「やや悪い・悪い」が51.2%（前期46.6%）となった。DI値は▲36.5（前期▲28.3）となり、前期調査時に比べ8.2ポイント悪化する結果となった。

業種別のDI値を見ると、製造業が▲29.4（前期▲14.8）・建設業が▲39.5（前期▲24.2）・卸売業が▲66.6（前期▲33.3）・小売業が▲53.3（前期▲33.3）・飲食業が0.0（前期▲40.0）・サービス業が▲46.9（前期▲42.9）・交通運輸業が▲20.0（前期▲60.0）となった。

業種別では前期DI値と比較して、飲食業・交通運輸業で改善が見られた。一方で、製造業・建設業・卸売業・小売業・サービス業が悪化した。

### 見通し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が7.1%、「やや悪い・悪い」との回答は51.2%、DI値は▲44.1となった。

現状のDI値（▲36.5）と比較すると、7.6ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のDI値を見ると製造業が▲46.4・建設業が▲47.3・卸売業が▲83.3・小売業が▲43.3・飲食業が0.0・サービス業が▲40.6・交通運輸業が▲60.0となった。

業種別に現状のDI値と比較すると、小売業が10.0ポイント、サービス業が6.3ポイント改善を見通すほか、飲食業が▲0.0と現在の水準で推移する見通しである。一方で、製造業は17.0ポイント、建設業は7.8ポイント、卸売業は16.7ポイント、交通運輸業は40.0ポイントの悪化を見通す結果となった。

### 目立った変化等

#### 【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く46.5%（前期43.5%）、「原材料高及び不足」が34.7%（前期35.1%）、「人手不足」が27.1%（前期29.0%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業・建設業・卸売業・小売業・サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、飲食業で「原材料高及び不足」が最も多く、交通

運輸業で「人件費の増加」が最も多かった。

#### 【設備投資】

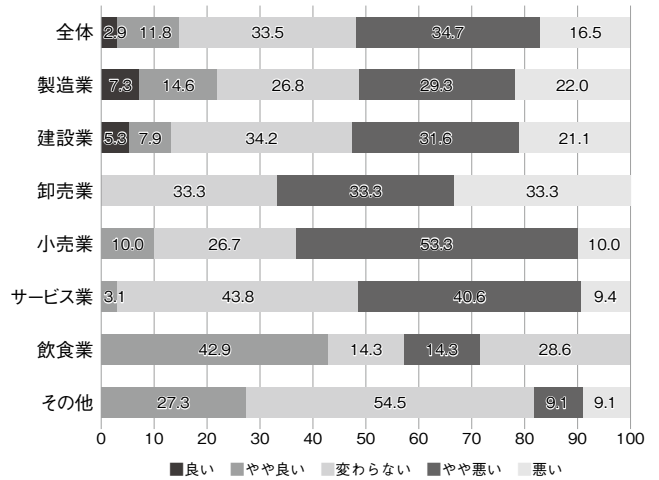
設備投資について、設備投資を実施した企業は27社15.9%（前期23.7%）であった。前期と比較して7.8ポイント減少した。

業種別では、製造業が14.6%（前期20.6%）、建設業が23.7%（前期20.7%）、卸売業が0.0%（前回33.3%）小売業が13.3%（前期9.5%）、飲食業が14.3%（前期20.0%）、サービス業が12.5%（前期23.8%）、交通運輸業が20.0%（前期80.0%）となった。業種別では、建設業が9社と最も多かった。

表1 DI値

	上野地区			三重県内		
	今期	前期	対比	今期	前期	対比
現状	▲36.5	▲28.3	▲8.2	▲25.8	▲19.1	▲6.7
見通し	▲44.1	▲25.9	▲18.2	▲27.9	▲22.7	▲5.2

表2 現状について（業種別）



### 総括

上野商工会議所地区においては、現状では、業況が「良い・やや良い」が14.7%（前期18.3%）、「やや悪い・悪い」との回答が51.2%（前期46.6%）となっており、現状のDI値が▲36.5と、前期と比べて8.2ポイント悪化する結果となった。経営課題では前回に引き続き「売上・受注の停滞減少」が最も多くあがっている。

今後の見通しのDI値については▲44.1となり、現状より7.6ポイント業況の悪化しており、引き続き厳しく見通す結果となった。

伊賀市では依然としてウクライナ情勢・円安などの影響による原材料高及び不足・光熱費等の経費増加が問題となっており、物価高騰による消費者の買い控えも相まって、経営上の問題においては「売上・受注の停滞減少」がどの業種においても深刻である。人口流出・少子化問題も改善の兆しが見られないことから、「人手不足」の問題も重要課題である。

観光産業においては、2025年に開業予定の忍者体験施設や、旧庁舎を活用した複合施設などによる売上の向上が期待できるものの、伊賀市全体の業況はさらに悪化していくことが懸念される。